

9. 庄内公民分館への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年(2016 年)4 月 23 日(土)19 時～

○場 所：庄内コミュニティプラザ

質問・意見等	豊中市からの回答
<b>通学上の安全対策はどうするのか。</b>	通学路の安全点検として、3年毎に、点検、対策、評価、改善を繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図ることとなります。今後、新たに通学路として使用する道路が発生しますが、警察や関係機関と連携し対応していきたいと考えています。
<b>(現野田・島田・庄内西校区などの)校区の端に住む、保育所や幼稚園を卒園したての1年生(の)子どもたちにも徒歩で通学させるのか。PTAが見守るにしても家庭事情も様々だし、校区が広がると通学路も多様になり見守りが充分にできない。通学バスは検討されているのか。(5・6年生など)高学年ならばまだしも、行き帰りの子どもたちの安全面が心配である。</b>	市内の小学校の通学距離については、最長 2 km程度です。それを超える通学距離になるとは考えていません。ちなみに国の基準では最長 4 kmとなっています。通学バスの運用は検討していません。
<b>時間をかけて徒歩で通学していたのは昔の話で、自動車などの交通量も少なかった。能勢町で統合された学校では、通学バスが使われている。もし、校区が統合されたら大型バスが 10 台程必要ではないか。中学生は自転車通学にしても、子どもたちの勉強面だけでなく、安全面を配慮して欲しい。</b>	通学時の安全対策は重要な検討課題であると認識しています。能勢町は、町全体で 1 か所に、学校を統合したということもあり、通学バスの活用は当然だと思います。どのような方法になるか分かりませんが、通学時の安全を確保したいと考えています。
<b>小中一貫教育について現場の教職員はどのように考えているのか。土曜日を休日にする「ゆとり教育」でも教育委員会から説明をいただいたが、理想と現実とのギャップ、弊害があった。理想を述べているが、10～15 年後を見通し絶対に間違っていない、という自信を持って進めて行こうとしているのか。</b>	絶対に間違っていないと断言はできませんが、今できることの最善の策であると考えています。教職員とはまだ十分に議論ができていませんが、庄内地域の学校ではこれまでも小・中学校合同で研修を行うなど、小中連携により、お互いを繋ぐ取り組みを進めてきました。このたび小中一貫教育というしっかりとした体制を整え、教職員とともに、一丸となって取り組みを進めていきたいと考えています。
<b>小中一貫教育は全国で進んでいるのか。</b>	全国的に事例があり、取り組みも 10 年に亘ります。施設一体型の小中一貫校は 100 校以上も存在します。
<b>中学校の規模が大きくなるとクラブ活動も盛んになる。そうなれば、学校の運動場や体育館がクラブ優先になり、地域活動で使えなくなるのでは、という心配がある。</b>	学校跡地の利用について方針は決まっていますが、統合後に残された小・中学校の体育館や運動場を残すことも当然考えられます。構想案を 2 案から 1 案に絞る過程で検討していくこととなります。

<p>児童生徒の体力が低下傾向にあると言われているので、体力向上が図れるような場所を確保いただきたい。子どもたちの健全育成にも役立つ。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
<p>防災の観点からも、統合後に残された小・中学校の体育館は防災拠点として残して欲しい。統合後になくなった小・中学校区の人々が何処に避難するのかを考慮して欲しい。</p>	<p>学校跡地や校舎、体育館など、何を残し、何に使うかはこれから検討していきます。</p>
<p>学校が再編されることにより、現在、主に小学校区単位で構成されている地域諸団体は統合されるのか。</p>	<p>小学校区を単位とした公民分館、校区福祉などの組織編成については、地域の人々のご意向を伺いながら検討を進めていきたいと考えています。</p>
<p>学校が再編されても、地域活動の拠点施設が欲しい。</p>	<p>統合後に残された小・中学校の体育館や運動場の跡地利用の詳細は未定ですが、地域の人々のための活動拠点は必要であると考えています。</p>
<p>地域諸団体への支援の配分は、それぞれの校区によって格差が出る。現存する諸団体の格差の取扱いについて、市はコミュニティランナーとして案を出すべき。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
<p>(仮称)南部コラボセンター、小中一貫校、いずれも外観・内容についても人々を惹きつけるような魅力ある施設にして欲しい。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>